

定例会議の開催状況

- 1 日時 令和7年2月5日（水）午後1時35分～午後3時25分
- 2 出席者 斎藤委員長、櫻井委員、逸見委員、山田委員
本部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、情報通信部長、警察学校長、首席監察官、組織犯罪対策本部長
説明補助者
公安委員会事務室長、監察官室長、地域指導官、交通規制課長、交通聴聞官、運転免許センターセンター長補佐
- 3 議題事項
 - (1) 運転免許取消処分等に係る審査請求の審理経過報告及び裁決について
監察官室長から、運転免許取消処分等に係る審査請求について、審理経過の報告があり、裁決した。
 - (2) 警察職員等の援助要求に対する同意について
地域指導官から、「JR長野駅前における刃物使用殺人等事件の発生に伴う警戒活動のため、長野県公安委員会から警察職員等の援助要求があった。本件については、1月23日、同意をいただいている。」旨の説明があり、審議の結果、同意書を決定した。
 - (3) 長岡市長から公安委員会への協議～長岡駅前歩道上における「まちカフェ」の実施～について
交通規制課長から、「長岡市では長岡駅西側地域の歩道上にオープンカフェ等を設置する「まちカフェ」を展開するため、平成31年4月から「中心市街地の活性化に関する法律」に基づく道路占用許可の特例措置を活用しているが、本年3月に同特例措置の適用期間が終了する。同市では更新手続を進めており、手続上、公安委員会の同意が必要とのことである。管轄する長岡警察署長の意見を踏まえ、同意の可否について審議をお願いしたい。」旨の説明があり、審議の結果、同意を決定した。
 - (4) 運転免許関係の意見聴取等について
交通聴聞官から、運転免許取消対象事案16件について、事案内容及び意見聴取等結果の説明があり、審議の結果、取消し16件の行政処分を決定した。
- 4 報告事項
 - (1) 公安委員会宛て審査請求の受理について
公安委員会事務室長から、公安委員会宛てに提出された運転免許証取消処分に対する審査請求について、報告があった。

(2) 令和6年度第3四半期（10月～12月）の監察実施結果について

首席監察官から、令和6年度第3四半期（10月～12月）の監察実施結果について、資料に基づき報告があった。

委員から、「本部長が監察執行官として警察署に出向き、若手・中堅職員及び幹部職員と意見交換をしたとのことだが、現場の声を自ら聞くことは非常に大事なことである。署員の士気が上がったとの報告もあったが、警察署員の動機付けの一つとなり得たと思うので、今後も続けていただきたい。」旨の発言があった。

委員から、「昨年、様々な事案が発生したが、厳正な規律の保持・基本の徹底について、幹部からなされた指示が一方通行となっていないか、浸透状況を確認することは非常に意義がある。現場の職員の声を直に聞き、どのように徹底が図られているのかを本部の監察がチェックすることは非常に重要である。」旨の発言があった。

(3) 不正競争防止法違反事件の検挙について

生活安全部長から、不正競争防止法違反事件の検挙について、資料に基づき報告があった。

(4) 薬物乱用防止デザイン・マンガコンクール発表会の開催について

組織犯罪対策本部長から、薬物乱用防止デザイン・マンガコンクール発表会の開催について、資料に基づき報告があった。

(5) 令和6年中における特定秘密の保護措置実施状況について

警備部長から、令和6年中における特定秘密の保護措置実施状況について報告があった。

5 その他

(1) 警察署における職員との意見交換について

本部長から、「監察のため、警察署に出向いた際の若手・中堅職員及び幹部との意見交換では、署員から多くの意見を聞かせていただいた。正面から仕事に向きあい頑張っている熱意を感じ、非常に良い機会であったと考えている。今後も引き続き同様の取組を続けてまいりたい。」旨の発言があった。